

公民科（公共）

履修単位	2単位	学 年	1年
学科コース	商業科	区 分	必修
使用教科書	高等学校 新公共（第一学習社）		
副教材等	『クローズアップ公共』（第一学習社） 『学習事項の整理と問題 新公共ノート』（第一学習社）		

1. 科目を通じた学習内容と学習目標

この科目では、人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする学習活動を行います。

この科目の目標は、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することです。

2. 授業を受けるにあたってのアドバイス

“公共”の授業では、中学校の“公民”を復習・継続しつつ、発展（広げる）・深化（掘り下げる）させていきます。そのために、大きく3つのアドバイスを送ります。

【① “語句の暗記” から “概念や理論の理解”】
 …意味のわからない語句を覚えることが苦痛なら、その語句の意味や他の語句との関係性を調べたり質問したりしながら理解しましょう。スマホ等の便利な道具は家庭学習等で効果的に活用してください。調べた事柄を自分なりにノートにまとめる力も養いましょう。

【② ①で身につけた知識を “活用” する。】
 …せっかく理解した知識です。正しい知識に基づいた“考察や判断”で自らの“意見”へと発展させ、レポートや話し合いで“表現”しましょう。その際、他の“意見”も参考にすることで、多面的で多角的に考える力が育っていきます。

【③ あと2年でこの国の “主権者” となる自覚を養う。】
 …公共的な空間に生きる公民として、平和や各国の主権を尊重し、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養いましょう。テストの点数も大切ですが、この授業で学んだことや育んだ力を日常生活にどう活かせるかという視点が最も大切です。だからこそ、こちら側もテストの点数だけでなく、多様な観点でみなさんの力や姿勢を評価して行こうと考えています。

【☆スポーツを例にすれば、①は基礎練習で②は実戦練習。②のチャレンジで成功と失敗を体験することで、①へのモチベーションも上がります。ちなみにテストは練習試合。公式戦は今と未来の日常生活です。】

3. 科目を通じた評価の観点と評価方法

観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評 価 方 法	定期考査 小テスト レポート 等	定期考査 小テスト レポート 発表(プレゼンテーション) 等	定期考査 振り返りシート 授業への取り組み 板書ノート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（単元）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 年間を通じた学習計画

(より詳細な「学習内容・ねらい」・「評価の観点・評価方法」等については、各単元の最初の授業等で説明します。)

知識・技能＝【**知技**】 思考・判断・表現＝【**思判表**】 主体的に学習に取り組む態度＝【**態度**】

学期	単元の学習内容 ※編…大単元 ・ 章…中単元 ※章より細かい単元については、その章に入る際に詳細を示す。	単元の学習目標 ※1・2学期は中単元のもの を掲載	単元の評価規準 ※1・2学期については中単元のもの を抜粋して例示	主な評価の観点			備考
				知技	思判表	態度	
1 学期 (※ 4 月 ～ 6 月)	第1編 公共の扉						
	第1章 公共的な空間をつくる私たち	第1章 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。	例：第1章 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 等 ※詳細は、各中単元の学習に入る際の学習計画で示す。	○			
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	第2章 古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。	例：第2章 幸福、正義、公正などに着目して考えている。 等 ※詳細は、各中単元の学習に入る際の学習計画で示す。		○		
	第3章 公共的な空間における基本的原理	第3章 古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。	例：第3章 公共的な空間における基本的原理について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 等 ※詳細は、各中単元の学習に入る際の学習計画で示す。			○	
2 学期 (※ 7 月 ～ 1 2 月)	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち						
	第1章 法的な主体となる私たち	第1章 憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。	例：第1章 法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 等 ※詳細は、各中単元の学習に入る際の学習計画で示す。	○			
	第2章 政治的な主体となる私たち	第2章 よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。	※以下は第1～3章全てに共通 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。		○		
	第3章 経済的な主体となる私たち	第3章 公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。	例：第2章 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 等 ※詳細は、各中単元の学習に入る際の学習計画で示す。			○	

学期	単元の学習内容 ※編…大単元 ・ 章…中単元 ※章より細かい単元については、 その章に入る際に詳細を示す。	単元の学習目標	単元の評価規準	主な評価の観点			備考
				知技	思 判 表	態 度	
3 学 期 （ ※ 1 月 ～ 3 月 ）	第3編 持続可能な社会づくりの 主体となる私たち	持続可能な地域、国家・社会及 び国際社会づくりに向けた役割を 担う、公共の精神をもった自立し た主体となることに向けて、幸 福、正義、公正などに着目して、 現代の諸課題を探究する活動を行 う。（1・2学期で学んだことの 総まとめとしての位置づけにな る。）	◇これまで学んだ内容や課題を解 決するための知識を理解してい る。	○			
			◇地域の創造、よりよい国家・社 会の構築及び平和で安定した国際 社会の形成へ主体的に参画し、共 に生きる社会を築くという観点か ら課題を見いだしている。 ◇これまでの学習を関連させ、幸 福、正義、公正などに着目して、 多面的・多角的に考察し、表現し ている。 ◇その課題の解決に向けて事実を 基に協働して考察、構想し、妥当 性や効果、実現可能性などを指標 にして、論拠を基に自分の考えを 説明、論述している。		○		
			◇現代の諸課題を主体的に解決し ようとしている。			○	